

5 成人保健

年齢、心身の状況に応じて健康教育、健康診査等の保健事業を総合的に実施し、生活習慣病等の予防、早期発見、早期治療を図るとともに、自分自身の健康に対する自覚を高め老後の健康と適切な医療を確保する目的で、区では次のような保健事業を実施している。

(1) 健康手帳の交付

健康手帳は特定健康診査（総合健康診査）・保健指導等の記録、その他健康の保持のために必要な事項を記載し、自らの健康管理と適切な医療に資することを目的とする。平成21年度からは、40歳の方に郵送しているほか、41歳以上の希望者に交付している。

区 分	交 付 総 数	老人医療受給者証	40歳以上の希望者
		新規対象者	
平成17年度	2,245	1,782	463
平成18年度	444	329	115
平成19年度	1,214	1,138	76
平成20年度	71,995	71,973	22
平成21年度	3,133	—	11

*平成19年度までは、70歳到達者に送付。

*平成20年度は、40歳～67歳の者に送付。

(2) 区民健診（循環器健診等）

健診機会の少ない40歳未満の区民を対象に、結核・生活習慣病の早期発見と予防を目的として健診を実施している。16年度からC型肝炎検査も別個同日に実施。

区 分	検 査 件 数							
	実 人 員	血 圧 測 定	尿 検 査	血 液 検 査	心 電 図	聴 力 検 査	検C 型 肝 査炎	検B 型 肝 査炎
平成17年度	488	488	469	232	128	41	9	—
平成18年度	506	506	478	247	126	47	6	—
平成19年度	452	452	448	445	99	32	37	—
平成20年度	396	396	391	383	103	47	317	317
平成21年度	420	420	416	409	130	61	282	283

*15年度から心電図・聴力検査を追加（希望者）。

*20年度からは、C型肝炎検査とB型肝炎検査を無料で実施（希望者）。

(3) 総合健康診査

平成20年度から高齢者の医療の確保に関する法律等に基づいて40歳以上の者に健康診査を実施した。平成19年度までの基本健康診査と同じ健診内容とするため独自に上乘せ項目を追加して「総合健康診査」として、地区医師会に委託して協力医療機関で実施している。

平成20年度	区分	国民健康保険	後期高齢者 医療保険	生活保護 受給者等	計
	対象者数 (人)	37,959	16,367	6,063	60,389
	受診者数 (人)	14,445	8,174	2,501	25,120
	受診率 (%)	38.05	49.94	41.25	41.59

※ 上記以外の社会保険等加入者：対象者数 40,291人 受診者数 1,647人

平成21年度	区分	国民健康保険	後期高齢者 医療保険	生活保護 受給者等	計
	対象者数 (人)	38,470	16,810	6,642	61,922
	受診者数 (人)	14,405	8,487	1,912	24,804
	受診率 (%)	37.44	50.49	28.79	40.06

※ 上記以外の社会保険等加入者：対象者数 41,112人 受診者数 1,759人

(参考) 平成19年度までは基本健康診査として実施していた。

区民を対象に地区医師会に委託して協力医療機関で実施。

対象者：40歳、45歳、50歳、55歳以上の者

区 分	対象者数(A) (各年4.1.現在)	受診者数 (B)	受 診 結 果			受診率 A/B(%)
			異常なし	要指導	要医療	
平成17年度	70,373	28,122	3,496	19,143	5,483	40.0
平成18年度	70,837	28,729	3,713	19,594	5,422	40.6
平成19年度	71,070	29,510	3,691	20,209	5,610	41.5

(4) 成人健康診断

循環器健診を実施し生活習慣病の予防を図っている。

対象者：41～44歳、46～49歳、51～54歳の区民

区 分	受診者数	受 診 結 果		
		異常なし	要指導	要医療
平成17年度	622	188	295	139
平成18年度	601	171	282	148
平成19年度	575	211	258	106

* 平成20年度より廃止。

(5) 胃がん検診

胃がんの早期発見、早期治療を目的として区民（35歳以上）で検診を希望する者を対象に実施している。

区 分	受診者数	検診結果			がん発見者数(疑い含む)
		異常なし	要精密	判定不能	
平成17年度	1,121	934	185	2	2
平成18年度	1,064	859	198	7	2
平成19年度	1,209	1,015	191	3	0
平成20年度	1,171	947	216	7	1
平成21年度	1,649	1,354	267	28	3

(6) 大腸がん検診

大腸がんの早期発見、早期治療を目的として区民(35歳以上)で検診を希望する者を対象に実施している。

区 分	受診者数	検診結果				がん発見者数(疑い含む)
		異常なし	要精密	受診勧奨	検体不備	
平成17年度	1,219	1,153	54	12	0	3
平成18年度	1,190	1,098	69	23	0	3
平成19年度	1,335	1,217	91	25	0	5
平成20年度	1,312	1,053	81	176	0	1
平成21年度	1,858	1,612	120	126	0	11

(7) 子宮がん検診

区民の女性(20歳以上)で検診を希望する者を対象に実施している。(17年度から隔年受診)

【頸部検診】

区 分	受診者数	検診結果			がん発見者数(疑い含む)
		異常なし	要精密	判定不能	
平成17年度	1,912	1,887	25	0	10
平成18年度	1,011	1,000	11	0	3
平成19年度	1,633	1,616	17	0	7
平成20年度	2,258	2,235	23	0	3
平成21年度	3,531	3,480	51	0	1

※平成21年度は、国の施策として「女性特有のがん検診推進事業」(対象者へ無料クーポン券の配布)を実施。

【体部検診】

区 分	受診者数	検診結果				がん発見者数(疑い含む)
		陰 性	疑陽性	陽 性	判定不能	
平成17年度	270	253	6	0	11	1
平成18年度	96	96	0	0	0	0
平成19年度	177	176	0	0	0	1
平成20年度	161	150	0	0	11	0
平成21年度	147	137	2	0	8	0

(8) 乳がん検診

視触診のみは、区民の女性（30歳以上）で検診を希望する者を対象に地区医師会に委託して実施している。マンモグラフィ併用は、区民の女性（40歳以上）で検診を希望する者を対象に専門の検診機関に委託して実施（隔年受診）。

区 分	視触診のみ		マンモ併用			がん発見者数(疑い含む)
	受診者数	要精密	受診者数	要精密	精密受診者数	
平成17年度	1,498	57	1,056	70	25	6
平成18年度	1,037	70	1,018	42	31	3
平成19年度	1,150	64	1,001	54	37	3
平成20年度	675	32	2,853	186	110	12
平成21年度	706	39	3,751	341	205	9

※平成21年度は、国の施策として「女性特有のがん検診推進事業」（対象者へ無料クーポン券の配布）を実施。

(9) 肺がん検診

肺がんの早期発見、早期治療を目的として区民（40歳以上）で検診を希望する者を対象に実施している。

区 分	受診者数		異常なし		要精密者		判定不能	がん発見者数(疑い含む)
	X線	喀痰	X線	喀痰	X線	喀痰		
平成17年度	490	—	449	—	41	—	—	1
平成18年度	474	—	450	—	24	—	—	1
平成19年度	459	—	407	—	52	—	—	1
平成20年度	610	—	538	—	59	—	—	1
平成21年度	1,335	533	1,242	530	88	0	0	2

(10) 喉頭がん検診

区民（40歳以上）で喫煙者及び元喫煙者のうち検診を希望する者を対象に実施。

区 分	受診者数	検 診 結 果			がん発見者数 (疑い含む)
		異常なし	所 見 あ り		
			要精検	精検不要	
平成 17 年度	96	68	3	25	0
平成 18 年度	88	64	4	20	0
平成 19 年度	104	68	3	33	0
平成 20 年度	288	131	29	128	2
平成 21 年度	314	174	15	125	2

※ 平成19年度より「耳鼻科検診」として健康診査のなかで、問診により聴取した「声のかすれ・のどに異物感」がある者のうち、50歳以上の者又はブリンクマン指数600以上の者に実施する。 （ブリンクマン指数：1日当りの平均喫煙量(本数)×喫煙年数）

(11) 骨密度測定

平成6年度から、35歳及び40歳以上の区民を対象に、骨密度を測定し、栄養・食事生活習慣改善など適切な指導をしている。なお、平成9年度からは18歳以上の区民を対象としている。平成14年度までは骨粗しょう症検診として実施。

区 分	受診者			異常なし			要指導			要精密者			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
平成17年度	27	347	374	22	122	144	4	135	139	1	90	91	
平成18年度	48	375	423	37	113	150	11	165	176	0	97	97	
平成19年度	42	385	427	41	156	197	1	153	154	0	76	76	
平成20年度	44	336	380	39	107	146	5	148	153	0	81	81	
平成21年度	35	372	407	30	122	152	5	163	168	0	87	87	
年 齢 別 内 訳	40未満	2	14	16	2	14	16	0	0	0	0	0	0
	40～44	0	7	7	0	7	7	0	0	0	0	0	0
	45～49	0	22	22	0	21	21	0	1	1	0	0	0
	50～54	2	22	24	2	17	19	0	4	4	0	1	1
	55～59	4	53	57	3	26	29	1	20	21	0	7	7
	60～64	6	82	88	6	21	27	0	47	47	0	14	14
	65～69	8	69	77	7	7	14	1	41	42	0	21	21
	70～74	6	44	50	5	5	10	1	24	25	0	15	15
75以上	7	59	66	5	4	9	2	26	28	0	29	29	

(12) 基本健康診査フォローアップ事業

平成14年度は、「生活習慣改善指導」事業を基本健康診査受診者のうち糖尿病、高血圧、高脂血症のいずれかで「要指導」の判定を受けた者に対して実施し、平成15年度より基本健康診査フォローアップ事業として実施している。また、平成18年度は健診結果通知後かかりつけ医のコメントを付したニュースレターを発送し、生活習慣病指導をしている。

区 分	糖尿病	高血圧	高脂血症
平成16年度	6	3	20
平成17年度	0	0	3

(延べ件数)

平成18年度 ニュースレター発送件数 5,677件

平成19年度 ニュースレター発送件数 5,196件

* 平成20年度より廃止（国保特定保健指導として実施）

(13) 小規模事業所健診

台東区内の小規模事業所従事者を対象として、疾病の予防、結核・生活習慣病の早期発見を目的に実施している。

年 度		事業所数	実人員	胸部X線	尿検査	血液検査	心電図	聴力検査	検C型肝 査炎	検B型肝 査炎
平成17年度	台東	81	261	258	259	261	261	261	21	-
	浅草	55	213	213	213	213	213	213	12	-
	総数	136	474	471	472	474	474	474	33	-
平成18年度	台東	125	301	295	297	300	301	301	58	-
	浅草	45	204	202	204	204	204	204	12	-
	総数	170	505	497	501	504	505	505	70	-
平成19年度	台東	136	489	486	488	487	489	489	95	-
平成20年度	台東	217	546	542	544	546	546	546	290	288
平成21年度	台東	226	521	517	519	521	521	521	322	323

* 平成19年度より浅草は廃止。

(14) 耳の健康相談

3月3日の「耳の日」における事業の一環として、日本耳鼻咽喉科学会東京地方部会台東支部に委託して、耳の健康相談を実施している。

実施年月日：平成22年2月27日（土）

開催場所：台東保健所

受診人員：51人

(15) 眼科検診

65歳以上の区民を対象に、高齢者の視力低下や失明の大きな原因である白内障・緑内障等の早期発見・治療を目的に実施している。

実施月日 2月1日～2月28日

実施場所 区内協力医療機関

年度	受診者数	有所見者数
平成17年度	88	78
平成18年度	220	190

※ 19年度より廃止

(16) 緑内障検診

60歳の区民を対象に高齢者の視力低下や失明の大きな原因である緑内障等の早期発見・治療を目的に実施している。

実施年月 6月1日～3月31日

実施場所 区内協力医療機関

年度	受診者数	総合判定		
		所見なし	経過観察	要精査
平成20年度	440	268	122	50
平成21年度	469	262	162	45

6 生きいき健康づくり事業

区民が健康で生きいきと暮らしていくためには、生涯を通じての自主的な健康づくりが大切である。区では、いち早く区民と区が一体となって健康づくりを推進するため、平成5年に、「健康都市宣言」を、つづいて13年度には「生涯健康宣言」を宣言した。また、平成19年には、全ての区民が住み慣れた地域でいきいきとその人らしく暮らしていくことができるよう「自助」「公助」そして、「共助」（地域社会全体で支え合うこと）の考えをふまえた『たいとう健康都市宣言』を行うなど、区を上げて健康づくり施策に取り組んできたところである。

(1) 啓発推進事業

生きいき健康づくり健康推進委員事業

地域における住民の自主的な活動を促すことにより、区民が自らの健康の保持と増進を図り、地域での保健衛生思想の普及と、地域での健康づくりを推進することを目的とし、平成3年度から一部地域をモデル事業として開始し、平成9年度からは、区内全域に拡大し、活動内容も充実してきている。

平成21年度活動内容は、下記のとおりである。

健康推進委員	全地区 185名 (H21年度より)		
委嘱状交付式	平成21年4月20日実施	出席者数	87人
地区連絡会	92回	延参加者数	1,151名
リーダー連絡会議	7回	延参加者数	69名
健康学習会	41回	健康推進委員	延参加者数 509名
		一般区民	延参加者数 2,183名
地域行事への参加	17回	健康推進委員	延参加者数 130名
		一般区民	延参加者数 2,565名
合同交流会及び活動発表会	平成22年3月15日開催	延参加者数	128名

◆ 用語説明

地区連絡会：健康推進委員と保健所職員等との連絡・調整や健康学習会の企画・地域行事への参加などについての打合せ

リーダー連絡会議：保健所との連携、各地区の情報交換を目的とした会議。活動単位ごとのリーダー11名が出席。

健康学習会：健康推進委員主催で区民を対象に開催した講習・講演会等

地域行事への参加：健康推進委員が地域で行われる行事に参加したもの

合同交流会：健康推進委員相互の交流を図るもの

及び活動発表会

(2) 健康学習会

区民が生涯を通じて生きいきと豊かな生活を送る基盤は健康である。『自分の健康は自分で守り、つくる』という考えを基本として、知識の普及や生活習慣病予防、介護予防、健康づくりや育児支援等さまざまな目的をもって健康学習会を開催している。

保健所の専門職（医師・保健師・栄養士・歯科衛生士・食品衛生監視員・環境衛生監視員）が根拠法令や健康たいとう21計画、すこやか親子21計画に基づき企画して実施する。さらに区民や町会、老人会等、区民自ら企画して保健所職員と協同し実施するものと、台東区長が委嘱した健康推進委員が企画し保健所職員と実施するものがある。

	テーマ名	回数	参加者数	主な内容
母子保健	歯と口に関すること	37	1,788	母子・保育園児・幼稚園児等を対象とした健康学習と歯みがき指導
	栄養に関すること	21	306	離乳食講習会・親子クッキング・マタニティクッキング
	保健に関すること	39	880	小児救急教室・育児相談における講習会（食品衛生など）・中学生を対象とした赤ちゃんとのふれあい教室 0歳児・3歳児育児教室・生活リズム・予防接種・冬の育児など
	母子合計	97	2,974	
成人保健	歯と口に関すること	5	98	成人・障害者を対象とした健康学習と歯みがき指導
	栄養に関すること	10	182	各種団体からの依頼による学習会・食育
	保健に関すること	6	143	各種団体からの依頼による学習会（生活習慣病予防など） メタボリックシンドローム予防教室 血圧についてなど
	成人合計	21	423	
	難病	12	225	パーキンソン病患者の集い、口腔ケア講演会
	精神	1	16	自殺予防を考える
	感染症	23	1,622	新型インフルエンザ等感染症予防啓発学習会
	区民のための健康教室	3	108	浅草医師会との共催の学習会（在宅医療について等）
	健康推進委員	41	2,692	台東区委嘱の健康推進委員企画による学習会
	高齢者	194	9,702	介護予防イベント、高齢者の健康づくり教室 健康体操サポーター養成、地域からの依頼による学習会
	女性	26	629	女性のトータルヘルス事業における健康学習
	合計	418	18,391	

(3) 総合健康相談

高齢化の急速な進展、少子化、疾病構造の変化等に伴い、区民の保健事業に対する要望も多様化、高度化している。これらに対応するために、区民に総合的な個別総合相談事業を保健サービスとして提供している。

区 分	総合計	個別訪問 健康相談	所内面接・ 電話相談・ 文書等	関係機関連絡	生活習慣 個別相談※	栄養相談
総 数 (延人員)	17,053	2,601	10,304	2,573	71	1,504
台 東	12,461	1,708	8,117	1,068	64	1,504
浅 草	4,592	893	2,187	1,505	7	—

(個別訪問健康相談・所内面接・電話相談・文書連絡・関係機関連絡は、P124 のア. 家庭訪問等の件数の再掲)